

景気動向指数
平成 26 年 4 月分（速報）の概要

4月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：106.6、一致指数：111.1、遅行指数：116.0となった。（注）

先行指数は、前月と比較して0.5ポイント下降し、3か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は2.10ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は0.51ポイント下降し、2か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して3.4ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は1.24ポイント下降し、17か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は0.24ポイント上昇し、15か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して2.5ポイント下降し、6か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は0.03ポイント下降し、15か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は0.46ポイント上昇し、19か月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。

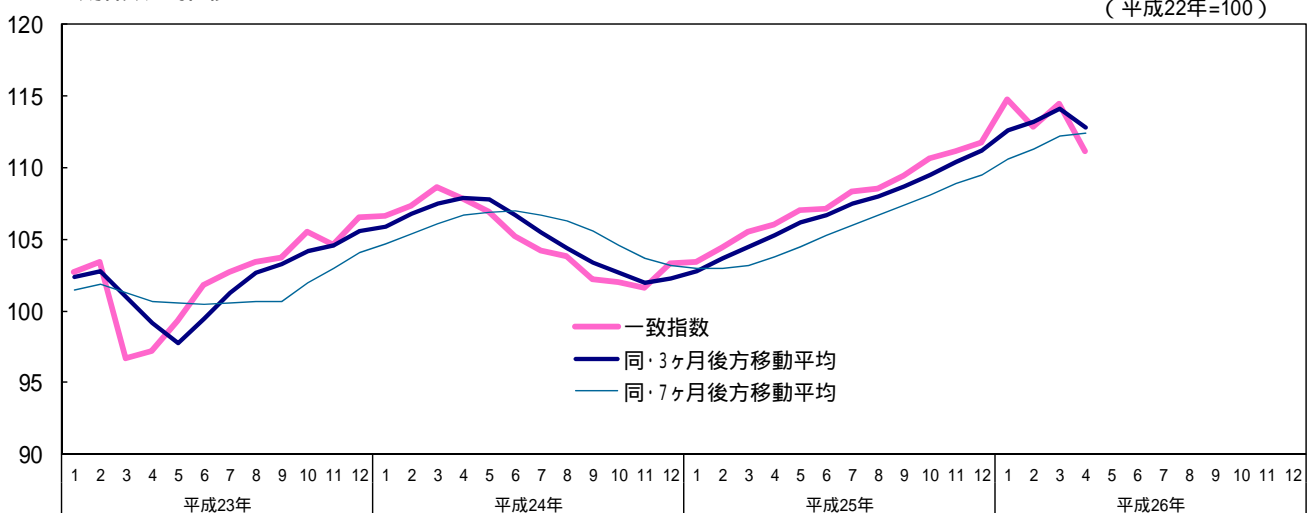
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C4：耐久消費財出荷指数	0.00	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.84
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.73
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.48
		C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.45
		C3：大口電力使用量	-0.40
		C1：生産指数(鉱工業)	-0.34
		C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.19
		C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.09
		C11：有効求人倍率(除学卒)	-0.03
C9：営業利益(全産業)	0.15		

「C9 営業利益（全産業）」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）原則として、公表日の3営業日前（平成26年6月3日（火））までに公表された値を用いて算出している。

なお、「法人企業統計季報」関連の4系列（「L10 投資環境指数（製造業）」に用いる「営業利益（製造業）」及び「総資本額（製造業）」、「C9 営業利益（全産業）」、「Lg3 実質法人企業設備投資（全産業）」に用いる「法人企業設備投資（全産業）」）については、内閣府にて独自に季節調整替えを行った後、平成26年4月分速報からの改訂状況の公表時に平成26年1～3月期分までの値を反映させる。